

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 事業名 | 少量多品目を活かした高付加価値飲料開発事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 泰阜村 (長野県下伊那郡泰阜村 3236-1) |
| 事業区分 | (6)産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり) |
| 事業タイプ | ハード |
| 総事業費 | 2,090,000 円 (うち支援金: 1,567,000 円) |

事業内容

地域的な特色から生まれる果樹作物等の少量多品目生産を活かした製品の開発を行うため、新規打栓機を導入した。これにより、新規格及びスクリーキャップを採用し、消費者ニーズに合わせた新製品開発につながった。容量を少なくしたが、エコファーマー認定等の認証制度を活用した高付加価値製品を作ることで、単価を高めた。

- ・ジュース用打栓機の検討、購入
- ・ジュース生産、販売
- ・プレス向け新製品発表会を実施
- ・10年間で3500万円以上の経済効果を想定(事業前の約3倍の付加価値)

事業効果

- ①支援金を活用してジュース用打栓機を購入したことで、消費者ニーズに合った製品づくりができた。新たな特産品が生まれたことで、地域外へのPR材料として活用できるようになった。
- ②受託生産も含めたジュースの生産額が前年度比233%に高まり、令和2年6月から7月の長雨の影響で原料の収量が大幅に減少したにもかかわらず、経済効果を得られた。
- ③生産者の加工意欲が高まり、来期以降に向けた新製品開発に積極的に取り組むきっかけになった。価格設定や相場についても知る機会となった。

今後の取り組み

本事業により、新たな加工機械を得たことにより、今後リンゴ以外の品目でも同様の取組ができるようになった。急峻な地形を生かし、ユズやブルーベリー、ナシ、ブドウなど多様な作物が生産可能な地域の特色を生かし、さらに次の高付加価値飲料の開発を行う予定。さらに、販路の拡大を支援することによって生産者の所得向上につなげたい。

地域内の他品目農家についても同様の取り組みが可能であることを示し、地域内全体の生産者所得の向上にも努める。

様々な機会をとらえて地域内外での販売を行い、販売実績を作るとともに、フィードバックを得て製品の改良等につなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【ジュースの報道向け発表】

【目標・ねらい】

- ①新製品の開発
- ②付加価値の増加
- ③加工による高付加価値化事業の周辺農家への波及

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・リンゴジュースの生産額が前年比235%となった。
- ・生産者の意欲向上につながった。
- ・消費者ニーズに合わせた新製品開発につながった。